

平成31年度 音楽科 3年 年間指導計画・評価計画

< 1 > 教科の目標

音楽活動の楽しさを体験することを通して、音や音楽への興味・関心を高め音楽にしてしむ態度を育てる
 多様な音楽表現の豊かさや美しさを感じ取り表現の技能を伸ばし創意工夫する力を高める
 音楽に対する理解を深め、幅広く主体的に鑑賞する能力を高める

< 2 > 各学年・各分野の目標

西洋音楽や我が国の伝統音楽、など多様な音楽の音色・リズム・速度・旋律・強弱・形式・構成など
 音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの特質や雰囲気を感じ取る。
 音楽用語や記号を音楽活動を通じて理解する。

< 3 > 評価の観点及びその趣旨

関心・意欲・態度	音楽に親しみ、音や音楽に関心を持ち、主体的に取り組んでいる
音楽表現の創意工夫	音楽の特質や雰囲気を感じ取り表現する
音楽表現の技能	音楽表現のための基礎的・基本的な技能
鑑賞の能力	音楽の特質や雰囲気を感じ取り、よさを味わって聴いている

< 4 > 観点別評価の評価基準と評定

観点別 評価基準	A	十分に満足できる状況である。(80%以上)
	B	おおむね満足できる状況である。(50%以上)
	C	努力を要する状況である。(50%未満)

評定	5	十分に満足できる状況であるもののうちで、特に程度の高いもの。(90%以上)
	4	十分満足できる状況である。(80%以上)
	3	おおむね満足できる状況である。(50%以上)
	2	努力を要する状況である。(50%未満)
	1	一層努力を要する状況である。(20%未満)

< 5 > 指導上の配慮事項

- ① 楽器(リコーダー)での学習 ←基礎的な技能を身につける。
- ② ワークシートでの学習 ←音楽の要素や特質を理解し表現や観賞に活かす。
- ③ パートリーダーを中心としたグループ活動 ←主体的な活動

音楽科 3 学年 年間指導計画・評価計画

月	単元名 指導時数	ねらい・学習課題 学習活動	評価の観点				評価規準 評価の方法
			関	創	技	鑑	
4	ガイダンス・基礎楽典 (2)	歌うための準備・校歌 基礎的知識事項	●	●	●		・正しい発声と発音で歌える (観察) ・基礎的知識事項を身につけている (定期考査)
5	日本歌曲を歌う (1)	「花」	●	●	●	●	・日本語の美しさを理解して歌う (観察)
	リコーダーに親しもう (3)	創作曲の演奏	●		●		・正しい奏法、パートの役割を理解して演奏する (実技試験、観察、定期考査)
6	総合芸術の魅力 (2)	総合芸術・舞台と音楽 オペラ 歌舞伎	●			●	・物語の内容を理解して、登場人物やオーケストラの表現に関心を持って鑑賞している ・音楽と他の芸術との関わりを理解して鑑賞している (ワークシート・定期考査)
7	曲想を味わって (4)	合唱祭自由曲 混声三部合唱	●	●	●	●	・強弱記号や、言葉がもたらす音楽の変化を理解し、歌唱している ・意欲的に合唱に取り組もうとしている (実技試験、観察)
8	邦楽に親しむ (2)	能「羽衣」	●			●	・面や衣装、舞台の表現の特徴などを理解して鑑賞している (ワークシート・定期考査)
9	曲想を味わって合唱する (9)	混声3部合唱曲	●	●	●		・強弱記号や、言葉がもたらす音楽の変化を理解し、歌唱している ・意欲的に合唱に取り組もうとしている (実技試験、観察)
10							
11	和楽器に触れてみよう (3)	箏の実技	●		●		・基本的な奏法で演奏する (実技試験、観察)
12	音楽の歴史 (3)	西洋音楽史	●			●	・音楽の歴史を理解する (ワークシート・定期考査)
	卒業期の歌 (1)		●				・意欲的に合唱に取り組もうとしている (実技試験、観察)

1 2	表現の工夫を考える（2 ） 音楽の歴史（2）	卒業期の歌 日本音楽史	●	●	●	<ul style="list-style-type: none"> ・歌詞が表す情景を想像して表現を工夫して歌唱している（実技、観察・定期考査） ● 音楽の歴史を理解する。（ワークシート、定期考査） ・歌詞が表す内容を理解して表現を工夫して歌唱している（実技、観察、定期考査）
3	歌詞の内容を理解して歌う（3）	式歌	●	●	●	